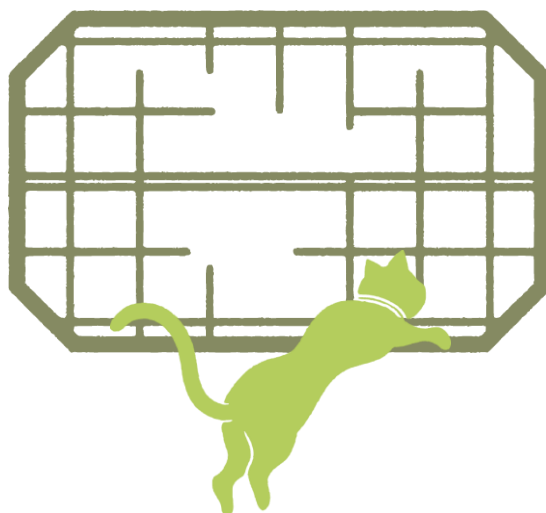


さがみおおの らいぶらリーにゅーす

106

相模大野図書館報 2025 年 2 月 28 日発行



CONTENTS

P 2 - P 3

◆ 【特集 花ひらく江戸文化】

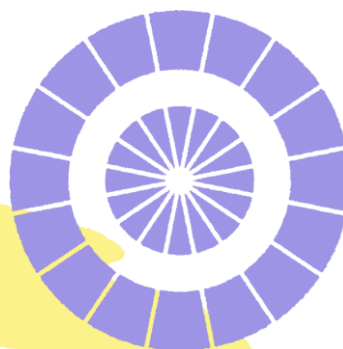
P 4 【ブックらいと】

P 5 【どんな？こんな！R資料】

P 6 【こどものほんのフロアからこんにちは！】

P 7 【AVコーナー】

P 8 【巻末】スタッフイチオシ！本





今年のNHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の主人公、蔦屋重三郎（1750—1797）は吉原で生まれ、7歳で喜多川氏が経営する商家の蔦屋に養子に入りました。蔦屋は吉原で茶屋を営んでいました。重三郎の代になり貸本と書店を始めました。暫くして書物問屋や地本問屋（※）が建ち並び日本橋へ移り、出版業を始めました。

田沼時代と呼ばれる自由な空気の中で、華やかで享乐的な町民文化が花ひらき、重三郎は山東京伝、曲亭馬琴、大田南畝、喜多川歌麿、葛飾北斎、十返舎一九、最後には東洲斎写楽をプロデュースし江戸文化の発展に貢献しました。

今回はそんな独自の発展を遂げた、江戸文化についての本を集めました。

※地本（じほん）とは……江戸で出版された大衆本の総称



やってみよう！江戸暮らし

『江戸移住のすすめ』 富岡一成／著 旬報社 2021 382.1

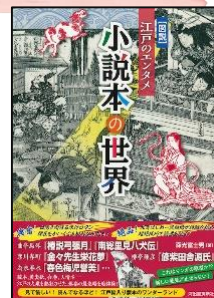
江戸での物件探しから身だしなみ、はては、江戸前啖呵用語集に簡単江戸料理レシピまで。裏路地には棒手振（ぼてふり）と呼ばれる行商人が行きかい、長屋から店に行かずとも買物ができます。銭湯帰りに屋台飯。今日からあなたも楽しい江戸暮らし。

江戸のエンタメ

『〈図説〉江戸のエンタメ小説本の世界』 深光富士男／著

河出書房新社 2022 913.5

江戸時代大衆小説本は挿絵入りのものが基本でした。今でも親しまれ読まれている馬琴の代表作は、北斎とともに手掛けた読本（よみほん）『椿説弓張月』と完成までに28年の歳月をかけた『南総里見八犬伝』です。馬琴が描いた下絵との比較も載っており楽しめる一冊です。



江戸のスクープ

『奇妙な瓦版の世界』 森田健司／著 青幻舎 2019 070.21

テレビもラジオも無い江戸時代に活躍したマスメディア、瓦版。事件や災害情報の他に、怪異や広告、ランキングなど庶民が好むネタが満載。木版画でのイラストデザインも秀逸です。

和算の指南書

『塵劫記を読みとく百科』 佐藤健一／著 丸善出版 2021 419.1

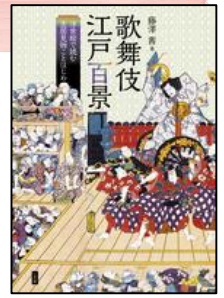
「塵劫記（じんこうき）」は江戸時代の大ベストセラー算術書です。日本独自の図解や言葉を用いた数学史と「塵劫記」の算術を活用した江戸の生活様式を知ることができます。和算の油分け算・倍増し算など数多くの解説があり興味深いです。



浮世絵の中の歌舞伎

『歌舞伎江戸百景』 藤澤 茜／著 小学館 2022 774.2

江戸時代中期以降、歌舞伎の人気が高まるとともに、飛ぶように売れた人気歌舞伎役者の浮世絵。生活のなかで用いる団扇、双六などの娯楽や広告宣伝にも取り入れられ、庶民の日常にありました。そんな歌舞伎と浮世絵の関係をひも解いています。



知りたい！江戸の仕事

『江戸のフリーランス図鑑』 飯田泰子／著 芙蓉書房出版 2023 384.3

身一つで往来を売り歩く「出商人（であきんど）」と呼ばれる生業には、食べ物、住まいの道具、薬などの生活を支える行商から、玩具、大道芸などの娯楽まで数多くの種類がありました。中には不思議な商売もあり、じっくりみると江戸の暮らしが分かって面白い本です。



富士山に挑む 歌川広重浮世絵の謎

『歌川広重富士三十六景』 歌川広重／〔画〕

町田市立国際版画美術館／監修ほか 二玄社 2013 721.8

歌川広重が晩年に手掛けた、富士山を題材とした浮世絵「富士三十六景」全 36 枚を堪能できます。自らのスケッチを基に制作された浮世絵は、構図や色使いが見事です。解説もわかりやすく、浮世絵とあわせて読むと理解が深まります。



江戸文化の入門書

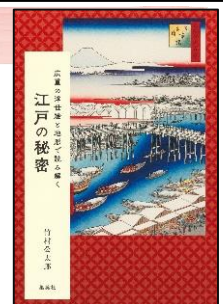
『江戸文化の見方』 竹内 誠／編 角川学芸出版 2010 210.5

戦（いくさ）の少ない江戸時代。中期以降は生活を楽しむ庶民によって、成熟期を迎えた江戸文化が花盛りとなりました。本書は暮らし・住まい・装い・食・遊び・旅・芸事・絵画・出版・教育そして信仰と宗教など江戸文化を総括しています。江戸文化は浮世絵や歌舞伎が有名ですが、生活全てが文化と知ることができます。

家康によって造られた江戸

『広重の浮世絵と地形で読み解く江戸の秘密』 竹村公太郎／著
集英社 2021 210.5

川辺の風景からは水運を、参勤交代から言語を、馬のお尻の構図からリサイクルを、堤の画からは治水をと、歌川広重の 23 枚の浮世絵から浮かび上がる江戸の成り立ちと暮らしを読み解いていきます。



絢爛豪華な歌舞伎絵本

『義経千本桜』 橋本 治／著 岡田嘉夫／画 ポプラ社 2005 E

現代の浮世絵師と呼ばれていた岡田嘉夫が、艶やかな歌舞伎世界を見開きいっぱい描いた絵本です。文字の多さには圧倒されますが、内容は橋本治のわかりやすい文章で、歌舞伎に興味をお持ちの方や馴染みのない方にもおすすめしたい本です。



きになる本をてらします

ブックらいと



その時、世界は……



1

『ヴェルサイユ宮殿影の主役たち』
ジャック・ルヴロン／著
河出書房新社
2019 235.05

17世紀～19世紀中期まで、約260年間続いた江戸時代。当時、世界の主要国はヨーロッパに集中していました。イギリスでは、産業革命や各地の植民地化、フランスでは、ナポレオンの活躍や数々の革命が起こり、世界中で争いや混乱の絶えない時代でした。今回は、そんな激動の時代の中、各国で培われた文化や芸術、技術の発展などにらいとをあてます。

ヴェルサイユ宮殿の華やかさは、現在でもよく知られていますが、華やかさを取り巻く「脇役たち」にもそれぞれ重要な役割があり、ドラマがありました。本書は、時代小説を楽しむように、「脇役たち」の人生から、ヴェルサイユ宮殿と町の様子を知ることができる一冊です。

2



『希望名人ゲーテと
絶望名人カフカの対話』
頭木弘樹／編訳
飛鳥新社 2014 940.268

ゲーテとカフカ、対照的なふたりの言葉に励まされたり、落ち込んだり。今の自分にはどちらの言葉があうのか考えながら読みたい本です。

3



『写真で読み解く
世界の建設機械史』
大川 聰／著
三樹書房 2021 513.8

18世紀、蒸気機関が開発され、19世紀に動力として採用されてから、今日まで多くの建設機械が世に登場してきました。その変遷の歴史を図や写真付きで解説しています。

4



『中野京子と読み解く
フェルメールとオランダ黄金時代』
中野京子／著
文藝春秋 2022 723.359

フェルメールの生きた17世紀のオランダは王政を敷かず、海洋貿易で富み、医学や技術面も最新国でした。この黄金期の100年間を絵画から読み解いています。



相模大野図書館の本は、『日本十進分類法』に従って並んでいます。『日本十進分類法』とは、本を内容別に整理する為の方法です。まず0～9の大まかな区分に分け、その10区分をさらに細かく分けることによって、わかりやすく配置することができます。

またその中で、参考資料(R)、郷土資料(K)、文庫(BF)や新書(S)、旅行ガイド(T)、児童書(J)などは分類記号の前に別置記号を付し、探しやすくしています。他にも、小説(F)、雑誌(Z)、絵本(E)、洋画DVD(DW)、などの表記もあります。

どんな？
こんな！

レファレンス

R 資料

なかなか手に取りにくい“調べもの”のための
資料＝通称“R(レファレンス)資料”
ここではレファレンスのスペシャリストが
とっておきの資料を皆様にご紹介します



ウナギの未来を守る

『日本のウナギ 生態・文化・保全と図鑑』

海部健三・脇谷量子郎／文 内山りゅう／写真

山と溪谷社 2024 R487.6

日本の食文化を支える貴重な食材である“ウナギ”。絶大な人気を誇る、「うな重」や「うな丼」の文化は、江戸時代後期に花開きました。しかし、現在「ニホンウナギ」は絶滅危惧種に指定されています。この本は、うなぎの生態、文化、保全について、最新の研究に基づく解説と、水中撮影が困難なウナギを、いきいきとダイナミックにとらえた写真で構成されています。

ウナギの未来を守るということは、日本の川や水環境の「今」を考えることだと改めて気づかされる一冊です。

シリーズ
郷土資料

発見！私たちの郷土

新しい相模原のガイドブックが出ました！！

「都市の利便性と自然の豊かさが見事に融合した」
相模原市の魅力を、市内に広がる里山の美しい風景と、
そこに住む人々のライフスタイルを紹介しながら伝えて
います。

ガイドブック的要素も盛りだくさんですが、凛とした
美しささえも感じられる写真が印象的です。

この写真は、フォトグラファー石川望さんが撮影し、
里山の空気まで感じられるようです。

モデルは第 18 代相模原市観光親善大使、山ノ内愛乃
(やまのうち まよの) さんです。

貸出用もありますので、次のおでかけ先をゆっくり探
してみたいかがでしょうか？



『相模原の楽しみ方』

ザメディアジョン

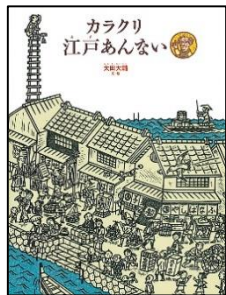
2024 K1-29/74

こどものほんのフロアから こんにちは!

相模大野図書館は、“一般書（大人向け図書）フロア”と“こどもの本のフロア”に分かれています。

“こどもの本のフロア”ってどんな所?という方もいらっしゃるかもしれません。そこで、こちらのページでは、“こどもの本のフロア”に関する事や児童対象のイベントの紹介・報告をしています。

江戸文化



一郎くんと美江子さんのおじいちゃんが発明した「カラクリ機械」を通して、江戸時代の生活の様子を覗いてみませんか?

版画とは思えない細かい絵は色使いも工夫され、見ているだけでも楽しめます。

『カラクリ江戸あんない』

太田大輔／文・絵

福音館書店 2010 E/お



かわらばん屋の父親が失踪し、幼い弟と取り残された13歳の吟。途方に暮れていたある日、境遇の似た侍の少年と出会います。二人は力を合わせて生き抜く道を探します。

江戸時代のみならず現代のジャーナリズムについても考えたい物語です。ほろ苦い読後感が残ります。

『かわらばん屋の娘』

森川成美／作 伊野孝行／画

くもん出版 2023 J913

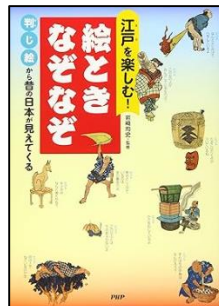


江戸のお店の様子が細かいイラストで描かれています。実際にお店に行った気分で、商品を選びたいくなるかもしれません。地本問屋、ぼてふり、唐物屋。何のお店かご存知ですか? シリーズ3巻まであります。

『江戸のお店屋さん』

藤川智子／作 ほるぷ出版

2013 J38



江戸時代の絵なぞなぞ「判じ絵」。こちらの本には動物、野菜、魚、家の中のものなど多彩なジャンルの判じ絵が収録されています。

解けたらあなたも江戸博士?! 家族や友達と楽しめる1冊です。

『江戸を楽しむ! 絵ときなぞなぞ』

岩崎均史／監修 PHP 研究所

2016 J72



こども向けイベントお土産紹介

相模大野図書館で開催している“おおきなおはなし会”などのこども向けイベントでは、さまざまなお土産をプレゼントしています!

今まで配布したお土産を一部紹介します。お土産は図書館スタッフが心をこめて手作りしています♪

ぜひおはなし会に来てみてくださいね!

しおり、花ゴマ、カードケース、ツリー型のマスコットなど





このコーナーではCD・ビデオ・DVDの視聴覚資料（オーディオヴィジュアル）を中心に紹介していきます。

AVで楽しむ江戸時間

『勘三郎箱 第4巻／

猿若江戸の初櫓』

中村勘太郎／出演

MMC 2005 DO20042/橙

猿若ひきいる猿若一座と出雲の阿国は江戸へ向かう道中で立ち往生している材木商を助けます。なんでも、将軍家への献上品を運ぶ途中だそうです。そして……。江戸歌舞伎の発祥を描いた華やかな作品です。

『特選 落語で江戸散歩』

ポニーキャニオン 2011

CE21296/G/ラ

昭和を彩った噺家の競演により、江戸の各地を舞台に繰り上げられる笑い人情噺。江戸情緒あふれる6話の落語が収録され名人芸によりその世界にひきこまれます。

落語で江戸の町を巡りましょう。

『松竹時代劇

映画音楽セレクション』

Sony Music 2017

CE21403/B/シ

昭和から平成にかけて松竹が生んだ時代劇映画のメイン楽曲を集めたアルバムです。なつかしの曲からお馴染みの曲まで、有名作曲家たちが作ったメロディーの数々が全30曲収録されています。

今年は何かと江戸時代に注目が集まりそうですね。

このコーナーでも手軽に江戸気分を楽しめるDVDやCDを特集しました。

『HOKUSAI』

橋本 一／監督

Pipeline 2021 DN20147

「富嶽三十六景」などで有名な浮世絵師葛飾北斎が主人公です。北斎の人生と信念が、史実をもとにしたオリジナルストーリーとして描かれています。大河ドラマの主人公蔦屋重三郎が若き日の北斎を見出し、叱咤激励し才能を開花させていくところも見どころの一つです。

『奥の細道』

松尾芭蕉／著

King Record 2002 CE20904/I/マ

江戸時代を代表する俳人松尾芭蕉の『奥の細道』。作中で詠まれた有名な俳句は知っていても、原文を読む機会はなかなかないのではないのでしょうか。このCDでは俳優の寺田農が原文を朗読しています。気軽に芭蕉の旅の雰囲気味わってみませんか。

『三味線全集』

Columbia 1998 CE20665/シ/D

三味線は16世紀後半に琉球から伝わり、江戸時代初めに今と同じ形となりました。歌舞伎や浄瑠璃の伴奏として取り入れられたことで庶民にも親しまれ、様々なジャンルの三味線音楽が開きました。江戸の人々に愛された長唄、義太夫、新内など、趣の異なる粋な音色をお楽しみください。



もし、DVDやビデオを破損、紛失してしまったら？

図書館にあるDVDとビデオは著作権許諾済みのものを購入しています。市販のものとは、図書館での利用ができません。

弁償の場合は、図書館で注文しますのでお借りになった図書館へお申し出ください。

価格については、図書館で利用するための著作権料が含まれており、市販価格よりも高額となっています。

DVDやビデオ等の視聴覚資料は壊れたり傷つきやすいので、お取り扱いにはご注意ください。

スタッフイチオシ! 本

このコーナーでは、相模大野図書館のスタッフがひとつの作品を熱くお勧めします。

『一汁一菜でよいという提案』

土井善晴／著
グラフィック社
2016 596.04/ギン



この本は、忙しい現代を生きる人々に向けて、「一汁一菜」のスタイルを提案しています。料理研究家である土井さんは、和食に対する深い思いと美学を優しい言葉で綴り、心温まるメッセージを届けてくれます。

家庭料理について、「ご飯と具たくさんの味噌汁。これだけで、毎日に必要な栄養は十分に摂ることができる。」という考えに感銘を受けました。そして、読み終えたあとは、食事を通じて心の豊かさを育むことの大切さを改めて感じました。

土井さんが作った一汁一菜の写真や、旬の食材を使ったレシピなども載っていて、とても参考になります。料理を作るすべての人に読んでほしい、お勧めの一冊です。



←図書館の HP、フェイスブック、X はこちらの QR コードからアクセス！

発行 相模原市立相模大野図書館

〒252-0303

相模原市南区相模大野4-4-1

TEL 042-749-2244

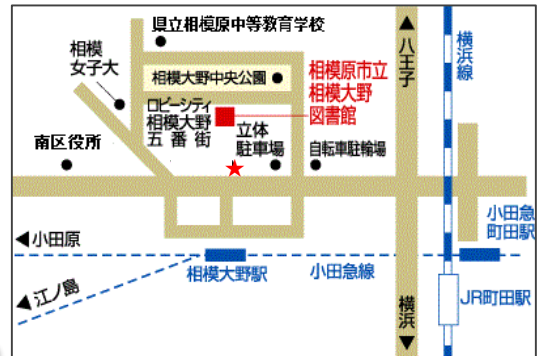
<https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp>

開館時間

平日 9:30~20:00 (4階子どもの本のフロアは18:00まで)

土・日・休日 9:30~18:00

MAP



小田急線相模大野駅北口徒歩8分

★現在伊勢丹跡地工事のため、立体駐車場横の道を迂回してください。

FM HOT 839「図書館へ行こう」放送中!!

図書館職員によるおすすめの本と
図書館イベントの紹介

毎月第1週月曜日	8:35頃	橋本図書館
毎月第2週月曜日	8:35頃	相模大野図書館
毎月第3週月曜日	8:35頃	相模原市立図書館
毎月第4週月曜日	8:35頃	図書館豆知識
再放送は、翌火曜日11:35頃		
翌木曜日16:15頃より放送します		

「図書館へ行こう」の放送は

FM HOT 839 無料公式アプリでも
お聴きいただけます!!

ラジオは停電でも
防災情報が聴ける防災メディア
チャンネルはいつでも 83.9MHz

83.9MHz

<https://fm839.com/>

FMHOT839MHz

アプリの
ダウンロードは
こちらから

<https://fmplala.com/fmsagami>

